

# 民進こうべ政策議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを ホームページ <http://minshin-kobe.jp/>  
編集・発行/民進こうべ政策議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

2017年もどうぞよろしくお願いたします。

第2回定例市会11月議会が開催され、地域福祉センターの指定管理者の指定などの一般会計補正予算や議案、神戸市人と猫との共生に関する条例などが議決されました。

12月6日、7日の本会議では、市政全般について市長の見解を問う「一般質問」が行なわれました。

## 一般質問

### 川原田弘子 議員 (垂水区)

#### <給食の地産地消の推進と就農支援について>

**Q** 神戸市は農業漁業が盛んでブランド産物も多い。給食の地産地消を更に推進し、給食の需要から生産を行うこともできるのでは？



**A** 市内産、県内産、国産の順に選定している。小松菜・ハウレンソウは市内産 100% 近い。じゃがいも、玉ねぎ、人参は他地域が多いが、給食用に新たに玉ねぎを作るようになった農家も現れた。

**要望** 市内の就農者が減少しており、需要の見込める給食の農産物を作ることで新規就農者を増やすなどできる。里山は農家が維持できないと守れない。

#### <臓器移植の体制確保と市民理解の推進について>

**Q** 改正臓器移植法ができ、脳死下の提供は増えたが、心停止下の臓器提供は1/3となった。世論調査ではどちらかといえば提供するという人が42～43%いる。待機者は13,000人以上。体制確保と市民理解の推進を。

**A** 国民健康保険の裏面には臓器提供の意思表示の記入欄を設けたり、イベント時に特設ブースを設ける、ホームページから臓器移植ネットワークのページにリンクするなど、広報に努めている。

#### <水道事業広域化に向けた神戸市のリーダーシップ>

**Q** 先日、市の大容量送水管事業が「水道イノベーション大賞」を受賞した。東日本では、住民に寄り添った水道局職員の支援がNHKでも取り上げられた。災害を経験した市の水道局が、兵庫県の水道事業の広域化をリーダーシップを持って進めるべき。そのために技術継承の確保を。

**A** 県の水道事業の「あり方懇話会」のメンバーに入っている。設備の再編や水質試験など、広域連携に協力していく。

### 平木ひろみ 議員 (中央区)

#### 1. しあわせの村のステップアップについて

**Q** 村内に障がい者や高齢者のためのグループホームを設置してはどうか？村内施設の連携を視野にシルバーカレッジのコース設定の見直しをしてはどうか？



**A** 障がい者の親なき後対策としてグループホーム、村内で勤務する人のための保育所の設置も検討している。シルバーカレッジのカリキュラムの見直しも実施する。

#### 2. 多文化共生社会の推進について

**Q** 生活日本語から学習日本語習得まで繋げるプログラムを体系的に整え、子供の成長を通して家族が地域で落ち着いた生活ができるように支援し、納税できるよき神戸市民としての共生を目指すべきではないか？

**A** 施策を整理して組織のあり方を再検討し、体系的プログラムを構築していく。市内に散在する児童生徒のため日本語指導人材の派遣を充実を図っていく。

#### 3. 人材を呼び込む新たな誘致策について

**Q** 新たな人口誘致策の一つとして、教育環境や良質な住宅物件の紹介などを英語で提供して、「神戸の暮らしやすさ」を打ち出して外国人とマッチングできる仕組みづくりを検討してはどうか？

**A** 神戸市で取り組む外国企業、人材呼び込みのための施策が充分か、改善が必要か、神戸市在住外国人にも意見を聞く。日本で最高の生活都市を目指す。

#### 4. 博物館・美術館のあり方について

**Q** 月1回の無料開放に取り組んではどうか？

**A** 博物館のリニューアルに合わせて、1、2階の常設展示の無料化を検討したい。企画展は個別検討が必要。